



Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定

この章では、Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルのセットアップについて説明します。

- [Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルについて \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの検索 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Mobility Advantage サーバセキュリティ プロファイルの設定項目 \(4 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルクライアントアプリケーション \(5 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの削除 \(6 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Mobility アドバンテージサーバセキュリティプロファイルに関する詳細情報の入手先 \(6 ページ\)](#)

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルについて

Unified Communications Manager Administration では、単一のセキュリティ プロファイルを複数の Mobile Communicator クライアントに割り当てることができるよう、セキュリティ関連の設定項目をグループ化しています。セキュリティ関連の設定には、デバイスセキュリティモード、着信転送タイプ、X.509 のサブジェクト名などがあります。[Cisco Unified Communications Manager Administration] で Cisco Unified Mobility Advantage サーバセキュリティ プロファイルを設定すると、このプロファイルがその Cisco Unified Communications Manager の設定済み Mobile Communicator クライアントすべてに自動で適用されます。

セキュリティ プロファイルの設定ウィンドウに表示されるのは、Cisco Unified Mobility Advantage サーバでサポートされるセキュリティ機能だけです。



- (注) Cisco Unified Mobility Advantage サーバを Unified Communications Manager Assistant Administration で設定することはできません。Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定については、ご使用の Cisco Unified Mobility Advantage のマニュアルを参照してください。Unified Communications Manager で設定する Cisco Unified Mobility Advantage のセキュリティ プロファイルが、Cisco Unified Mobility Advantage サーバ上のセキュリティ プロファイルと必ず一致するようにしてください。Cisco Unity Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルについては、『Cisco Unified Communications Manager Security Guide』を参照してください。

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの検索

Cisco Unified Mobility アドバンテージサーバセキュリティプロファイルを検索するには、次の手順を実行します。

手順

- Step 1** [Unified Communications Manager Administration] で、[System] > [Security Profile] > [CUMA Server Security Profile] を選択します。
- [Find and List CUMA Server Security Profile] ウィンドウが表示されます。このウィンドウには、アクティブな（以前の）クエリーのレコードも表示されることがあります。
- Step 2** データベース内のレコードをすべて表示するには、ダイアログボックスを空欄のままにして、[Step 3 \(2 ページ\)](#) に進みます。
- レコードをフィルタまたは検索するには、次の手順を実行します。
- 最初のドロップダウン リスト ボックスで、検索パラメータを選択します。
 - 2 番目のドロップダウン リスト ボックスで、検索パターンを選択します。
 - 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。
- (注) 検索条件をさらに追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定した条件をすべて満たしているレコードが検索されます。条件を削除する場合、最後に追加した条件を削除するには、[-] ボタンをクリックします。追加した検索条件をすべて削除するには、[Clear Filter] ボタンをクリックします。
- Step 3** [検索 (Find)] をクリックします。
- 条件を満たしているレコードがすべて表示されます。1 ページあたりの項目の表示件数を変更するには、[ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスで別の値を選択します。

- Step 4** 表示されるレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。
- (注) ソート順を反転させるには、リスト見出しの上矢印または下矢印が使用可能であればそれをクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

関連トピック

[Cisco Unified Mobility アドバンテージサーバセキュリティプロファイルに関する詳細情報の入手先](#), on page 6

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定

セキュリティ プロファイルを追加、更新、またはコピーするには、次の手順を実行します。

手順

- Step 1** [Unified Communications Manager Administration] で、[System] > [Security Profile] > [CUMA Server Security Profile] を選択します。
- Step 2** 次のいずれかの操作を行います。
- 新しいプロファイルを追加するには、[Find] ウィンドウで [Add New] をクリックし、[Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定 \(1 ページ\)](#) に進みます。
 - 既存のセキュリティプロファイルをコピーするには、適切なプロファイルを見つけて、コピーするセキュリティプロファイルの横に表示されている [Copy] ボタンをクリックしてから、[Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定 \(1 ページ\)](#) に進みます。
 - 既存のプロファイルを更新するには、適切なセキュリティプロファイルを[Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの設定 \(1 ページ\)](#) 見つけて、に進みます。
- [Add New] をクリックすると、各フィールドにデフォルト設定が入力された設定ウィンドウが表示されます。[Copy] をクリックすると、コピーした設定が入力された設定ウィンドウが表示されます。
- Step 3** XXX の説明に従って、適切な設定を入力します。 [表 1: セキュリティ プロファイルの設定項目 \(4 ページ\)](#)
- Step 4** [保存 (Save)] をクリックします。

関連トピック

[Cisco Unified Mobility Advantage サーバセキュリティ プロファイルの設定項目](#), on page 4

[Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの検索, on page 2](#)

[Cisco Unified Mobility アドバンテージサーバセキュリティプロファイルに関する詳細情報の入手先, on page 6](#)

Cisco Unified Mobility Advantage サーバセキュリティ プロファイルの設定項目

次の表で、Cisco Unified Mobility Advantage サーバセキュリティ プロファイルの設定項目について説明します。

表 1: セキュリティ プロファイルの設定項目

設定	説明
名前	<p>セキュリティ プロファイルの名前を入力します。</p> <p>ヒント セキュリティ プロファイル名にデバイス モデルを含めると、プロファイルの検索または更新時に正しいプロファイルを検索できます。</p>
説明	<p>セキュリティ プロファイルの説明を入力します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、山カッコ (<>) は使用できません。</p>
[デバイスセキュリティモード (Device Security Mode)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [非セキュア (Non Secure)]: イメージ認証を除くセキュリティ機能は Cisco Unified Mobility Advantage サーバに適用されていません。Unified Communications Manager への TCP 接続が開かれます。 • [Authenticated]: Unified Communications Manager によって Cisco Unified Mobility Advantage サーバの整合性と認証が提供されます。NULL/SHA を使用する TLS 接続がシグナリングに対して開きます。 • [Encrypted]: Unified Communications Manager によって Cisco Unified Mobility Advantage サーバの整合性、認証、および暗号化が提供されます。シグナリングに対して AES128/SHA を使用する TLS 接続が開き、SRTP はすべてのモバイル コールに対してメディアを伝送します。

設定	説明
[転送タイプ (Transport Type)]	<p>[Device Security Mode] が [Non Secure] の場合、ドロップダウン リストボックスから次のオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [TCP]: Transmission Control Protocol を選択し、パケットが送信したときと同じ順序で受信されるようにします。このプロトコルを使用すると、パケットはドロップされませんが、プロトコルはセキュリティを提供しません。 <p>[デバイス セキュリティ モード (Device Security Mode)] が [認証済み (Authenticated)] または [暗号化 (Encrypted)] の場合、TLS では [転送タイプ (Transport Type)] を指定します。TLS は、シグナリングの整合性、デバイス認証、およびシグナリング暗号化 (暗号化モードに限る) を提供します。</p>
安全な証明書の件名またはサブジェクトの別名	<p>([デバイス セキュリティ モード (Device Security Mode)] が [認証済み (Authenticated)] または [暗号化 (Encrypted)] の場合にのみ、必須。) このフィールドは、転送タイプとして TLS を選択した場合に適用されません。</p> <p>Secure Certificate Subject または Subject Alternate Name は暗号化における公開キーインフラストラクチャについての国際電気通信連合電気通信標準化部門の標準規格です。サブジェクト名はソース接続の TLS 証明書に対応します。</p> <p>X.509 のサブジェクト名が複数存在する場合、スペース、カンマ、セミコロン、コロンのいずれかを入力して名前を区切ります。</p> <p>このフィールドには、4096 文字まで入力できます。</p>

関連トピック

[Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの検索](#), on page 2
[詳細情報の入手先](#)

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルクライアント アプリケーション

Mobile Communicator クライアントのデバイス設定ウィンドウに「[Device Security Profile]」フィールドが存在しない場合、クライアントに Cisco Unified Mobility Advantage サーバセキュリティ プロファイルを手動で適用する必要はありません。

[Unified Communications Manager Administration] で Cisco Unified Mobility Advantage サーバセキュリティ プロファイルを設定すると、このプロファイルがその Unified Communications Manager の設定済み Mobile Communicator クライアントすべてに自動で適用されます。

関連トピック

[Cisco Unified Mobility アドバンテージサーバセキュリティプロファイルに関する詳細情報の入手先, on page 6](#)

Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの削除

この項では、Unified Communications Manager データベースから Cisco Unified Mobility Advantage サーバセキュリティ プロファイルを削除する方法について説明します。

手順

-
- Step 1** 削除するセキュリティ プロファイルを探します。
- Step 2** セキュリティプロファイルを削除するには、次の作業を実行します。
- a) [**Find And List**] ウィンドウで、適切なセキュリティプロファイルの横にあるチェックボックスをオンにします。次に、[**Delete Selected**] をクリックします。
- Step 3** 削除操作を確認するプロンプトが表示されたら、[**OK**] をクリックして削除するか、[**Cancel**] をクリックして削除の操作をキャンセルします。
-

関連トピック

[Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルの検索, on page 2](#)

[Cisco Unified Mobility アドバンテージサーバセキュリティプロファイルに関する詳細情報の入手先, on page 6](#)

Cisco Unified Mobility アドバンテージサーバセキュリティ プロファイルに関する詳細情報の入手先

関連トピック

[Cisco Unified Mobility Advantage サーバのセキュリティ プロファイルについて, on page 1](#)

[Cisco Unified Mobility Advantage サーバセキュリティ プロファイルの設定項目, on page 4](#)